

社 報



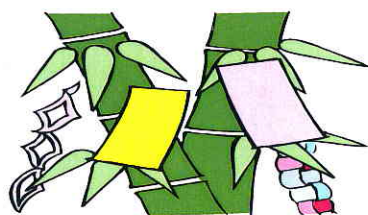
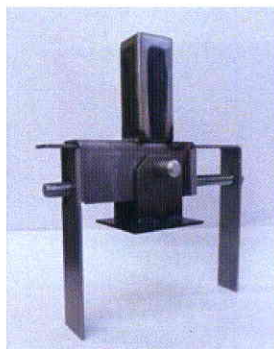
決算に思う

手摺天端金物

以前のこの欄で紹介いたしました手摺天端金物ですが、実用試験は思うような結果にはなりませんでした。

職人さんが不安に思うような金物では使用する以前に失格でありました。

現在、改良品を製作中です。



おかげ様で第9期の決算を終えることができました。2期連続の赤字決算となりましたので、昨年に引き続き反省を行い、さらなる努力を積み重ねられません。

昨年の社報にも、赤字決算について記載しました。内容は、赤字決算とは会社がお金を失うことである。会社が貧乏になれば、社員も取引業者もみんな困窮する。1年間、働いた結果として、お金を失うことはあっていけない。しかし、これを機会に、おおいに反省し、劣等感を味方に発奮すれば必ずや報われるであろう。一番いけないことは、劣等感に支配され無気力になることだけは避けねばならない。……と。

決算は会社の業績と財務状況を把握するために行なうものです。

世間一般の話として、赤字決算では対外上信用が悪いので、帳面上は黒字にしたという話を聞きます。

これを粉飾決算と言い、やってはいけないことです。本来の姿を把握すべき決算を、見栄えのする決算に作り変えるわけですから、決算の意義そ

のものを失ってまいります。

逆に黒字になりすぎたから、帳面上の利益を減らして、支払うべき税金を逃れようとするケースもあります。

どちらも、会社の正しい姿を把握しようという姿勢が抜け落ちています。世の中の事象は千差万別に様々な事象が発生しますが、大事なことはモノゴトの正しい姿を、正しい目で見るといことです。本当の事実を知る重要性を思い知らねばなりません。

決算だけでなく、仕事上でも最も大切なことです。

良いことも、悪いことも、好きなことも、嫌いなことも、冷静に事実を知らねばなりません。

事実を知る為には、努力を惜しんではなりません。目に見えること、耳に聞こえることが事実ではないからです。事実を知るには、自分自身の向上が不可欠です。人は自分の都合でモノゴトを見る習性があります。

もうすぐ社報100号です。

記念会を8/3に計画しています。

t.morimoto@forbuild.co.jp まで

(誰でもどうぞ)

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

梅雨の時期に電気工具の点検

水は電気を通します。ですから電気製品を水につけて、スイッチを入れますと、ショート(短絡)して壊れてしまいます。

水でショートしている状態に、人体が接触すれば、人体に電気が流れます。流れる電気の量が多いと、電気ショックを受けて、命を失うこともあります。

雨の多い時期は、意図していないところからも水が入ってきたりすること多くなります。

電気工具、特に電気コードには破損がないことを確認しておきましょう。型枠工事ではアーク溶接を行なうこともあります。電気工具より、より注意が必要です。

2012年 安全成績

■現場災害 H24.1.1-H24.6.30

休業災害	-----	0
不休災害	-----	2
物損災害	-----	0
その他	-----	0
合計	-----	2

■交通災害 H24.1.1-H24.6.30

人身災害	-----	0
物損災害	-----	1
合計	-----	1